

常総市
じょうそう
市議会議
だより

主な記事

- 一般質問(8月定例会議)…………… (2)~(10)
- 8月随時会議の審議案件と結果…………… (11)
- 8月定例会議の審議案件と結果…………… (12)
- 水害復興特別委員会報告書…………… (13)
- 11月定例会議日程…………… (13)
- 常任委員会視察報告…………… (14)

- 責任者 常総市議会議長 風野芳之
- 編集 議会だより編集委員会
- 発行 常総市議会

215号

2016.11.17
発行



玉幼稚園運動会

一般質問

8月定例会議

<p>中村 安雄 NAKAMURA YASUO</p>  <p>P.4</p> <p>●新市長の行政運営について 政争のまち、商店街の衰退、 圏央道インターチェンジ周辺 開発について新市長に問う。</p>	<p>坂野 茂実 SAKANO SHIGEMI</p>  <p>P.4</p> <p>●常総市の災害対策について 下館河川事務所は、最大降雨 で洪水時、鬼怒川西側も浸水 すると発表。対策はどうなっ ているのか？</p>	<p>岡野 一男 OKANO KAZUO</p>  <p>P.3</p> <p>●防災組織について 災害時に大切なのは地域力。 自主防災組織を強化し、市民 の安全を守っていくためにす べきことは？</p>	<p>中村 博美 NAKAMURA HIROMI</p>  <p>P.3</p> <p>●豪雨水害について尋ねる 今でも避難生活を強いられて いる方がいる。どうすれば被 災者の皆さんが一步でも前に 進めるのか？</p>
<p>茂田 信三 SHIGETA SHINZO</p>  <p>P.6</p> <p>●入札の件について なぜ入札の予定価格を事前に 公表するのか？それでは競争 原理が働かないのではないのか。</p>	<p>小林 剛 KOBAYASHI TAKESHI</p>  <p>P.6</p> <p>●防災関係について 防災複合施設の建設、全国被 災自治体との防災協定、危機 管理監の責任、水海道有料道 路の無料化について問う。</p>	<p>倉持 守 KURAMOCHI MAMORU</p>  <p>P.5</p> <p>●自動車リサイクル法に基づ き設置されている「ヤードに 関する条例」について ヤード内が見える塀の構造にす べく、市条例の制定を!!</p>	<p>寺田 洋 TERADA HIROSHI</p>  <p>P.5</p> <p>●市政の発展に向けての事業 継続について市長に問う 地方創生加速化交付金を利用し た地域交流センターの活性化事 業はどうなっているのか？</p>

ずばり 市政を問う!!

<p>大澤 清 OSAWA KIYOSHI</p>  <p>P.8</p> <p>●当市のICT化とペーパー レスについて ペーパーレス化による紙・人 的労力の削減と災害時も見据 えたタブレットの導入を!!</p>	<p>石川 栄子 ISHIKAWA EIKO</p>  <p>P.8</p> <p>●子育て支援について お母さんたちにとって必要な場 所、子育て支援センター。第三 保育所の子育て支援センターは 廃止されるのか？</p>	<p>堀越 道男 HORIKOSHI MICHIO</p>  <p>P.7</p> <p>●真に住民目線に立った防災 計画づくり（新たな防災計画 の転換を） 市民の生活・財産を守るとい う視点が必要だ!!</p>	<p>関 優嗣 SEKI MASASHI</p>  <p>P.7</p> <p>●水海道有料道路について 橋の渋滞を避けて、子どもた ちの通学路を走る自動車。安 全を守るためには水海道有料 道路の無料化を!!</p>
<p>金子 晃久 KANEKO TERUHISA</p>  <p>P.10</p> <p>●神達市長に問う 水害から1年。水害からの復 旧・復興の方針、庁内の組織 ・体制について新市長に問う。</p>	<p>遠藤 正信 ENDO MASANOBU</p>  <p>P.10</p> <p>●災害時の対策について 災害は想定外のことが起こる。 日頃からの備えが大切だ。昨 年の水害から1年。市の対策 はどうなっているのか？</p>	<p>新田 宏安 NITTA HIROYASU</p>  <p>P.9</p> <p>●地域の環境保全、美化につ いて 増える空き家。道路に張り出 した草木。子どもたちの通学 にも危ない。何とか対策を!!</p>	<p>堀越 輝子 HORIKOSHI TERUKO</p>  <p>P.9</p> <p>●大都市災害時における一次 避難先としての常総市の潜在 能力について 都市部からの交流人口を増や し地域経済の活性化を!!</p>

9/6/9/9の4日間にわたり16人の議員が一般質問を行い、市政全般について
活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。
※原則として平成の元号は省略しています。



**災害から1年
被災者の方々に寄り添う**

豪雨水害について尋ねる

議員

今でも200名ほどの方々が避難生活を強いられている。特に流失家族はまだまだ一歩も前に進んでいない。どうすれば流失家族を含む避難生活を続ける被災者の皆さんが一歩でも前に進めるのか。スピーディーな支援の具体策を尋ねる。

市長

まだ常総市に戻りたくても戻れない被災された皆さんが一日も早く戻っていただけるように、行政として最大限の支援をし、生活再建と自立ができるような支援もしていきたい。ここ2週続けて流失世帯の皆さんと話をしており、みなし仮設にお住まいの皆さんにもこれから面談をさせていたたく予定である。義援金の第3次配分は、一日も早く支給をしていきたい。

議員

被災世帯の生活支援相談の現状について尋ねる。生活支援相談員が全く来ていないという世帯もあるようだ。

市民生活部長

社会福祉協議会の相談員が回っているが、不在の場合は、連絡をいただきたという旨のチラシを置いてきている。連絡があれば、こちらから伺う日等を相談させていただきたい。

議員

今後、また訪問はするのか。

市民生活部長

まだお会いできない方については、相談員と連携をとって対応を考えていきたい。特に公営住宅に入っていらっしゃる方については、市長がまず会いたいという意向を伝えて、会えるような手段を考えていく。

議員

地域を一番よく知っている自治区長や民生委員の方にお力を借りてやっていくとよいのではないか。被災された皆さんにとっては本当に苦労苦労の1年だったと思う。実のある生活支援相談になるよう期待する。

中村 博美 議員

■ 設 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI ■ 設 質 問

災害対策本部の強化を望む!!



防災組織について

図上訓練	実動訓練
教室、会議室、体育館等室内で地図を用いてシナリオなどに沿って口頭・文書により机上で進行する訓練。	室外の訓練会場の現地で実際の人や物を動かして進行する訓練。

議員

置、情報伝達の訓練を行いたい。机上の訓練ではなく、だれがどの係を担当するのか、実際どのように動くのかという訓練が必要ではないか。

安全安心課長

今後は全職員がどのような形で動けるかという訓練はやっていきたいと思う。

議員

災害時には、自助、共助の精神のもと、地域力が大きな力を発揮する。市長は自主防災組織の強化をうたっているが、年度途中でも実行するのか。

市長

実効性のある自主防災組織を立ち上げていきたい。自主防災組織の継続性を担保するために行政がしっかりサポートする体制を考えている。

議員

防災士の資格取得に対する補助として、今年度20名の枠をとったが、全市内で自主防災組織を強化するという点から言うと20名では少ない。補助を増やしていくつもりはあるか。

市民生活部長

補助は来年度以降も続ける予定なので、今後増えていくことを期待している。

岡野 一男 議員

安全安心課長

今年度中に災害対策本部の設置、情報伝達の訓練を行いたい。

議員

昨年の水害時、防災組織は機能していただろうか。今回改めて初動体制がいかに重要かというのを痛感した。これまで日ごろの訓練を行ってきたのか。

市民生活部長

十分には行っていないかった。

議員

出水期だけではなく、防災の日の前後にも訓練をすべきである。年に2回以上の訓練は必要と考えている。



「鬼怒川西側にも浸水」 千年に一度の雨を想定

常総市の災害対策について

議員

下館河川事務所が発表した「常総西側にも浸水」との大変衝撃的な内容に対して、どのような対策・対応が考えられるか。

市民生活部長

境工事事務所に確認したところ、鬼怒川の西側を流下する茨城県管理の東仁連川、飯沼川については、危険箇所を早期かつ計画的に整備できるように、予算確保を進めているとのことであった。

議員

早急に進めていただければと思う。次に、青少年の家の耐震化の進捗状況と今後の活用方法について伺う。

教育部長

現在、宿泊施設として利用していないので、耐震化診断等は行っていない。今後、避難所や防災拠点としての活用も視野に入れて再度検討していきたい。

議員

耐震診断、改修が行われていないにもかかわらず、二次避難所に指定されているのはどうい

うことか。

生涯学習課長

宿泊の受け入れを中止した時点で、指定を解除すべきであったと考えている。

議員

青少年の家は、とりわけ菅原・大花羽・豊岡地区の低地の住民にとっては大変重要な施設である。現在あるものを使うようにしてほしいというのが地元の方々の強い願いである。防災に対する市長の意気込みを伺いたい。

市長

常総市が防災先進都市として、国・県・近隣市町村との連携を強化し、地域と行政の絆を深めて、市全体で防災力強化に取り組んでいきたい。



飯沼川排水路溢水現場



青少年の家

□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 圃

常総市の 明るい未来に期待する!!



新市長の行政運営について



議員

常総市の商工会会員数は、合併後376減少し、1640となっている。商工会だけの力では、到底戻すことは不可能である。行政がもっと目に見える形で、衰退した商店街、まち中を少しでも戻していただけるような体制づくりが大事だと思うが。

産業労働部長

3月に策定した常総市復興計画において、水害からの商業事業の再開、継続に加えて新たな事業展開等への支援などを掲げている。また、本年度から県補助金を活用して商店街活力向上支援事業を実施している。

議員

圏央道インターチェンジ周辺開発について期待しているが、計画がスムーズで内容が充実したものであってほしい。国や県とのつながりをなお一層持つことが大事だと思うが。

市長

圏央道インターチェンジ開通は、市にとって千載一遇のチャンスである。私も県議時代から推進議員連盟の顧問として携わらせていただいたが、これから国・県との連携を強化し、スピードアップして、先進事例となるような事業にしていきたい。

豊田城プロジェクト マッピング



市政の発展に向けての事業継続について市長に問う



地域交流センター「豊田城」

ジェクションマッピングとそのPR費用が対象外経費とされた。

議員

プロジェクトマッピングの事業は今後どうするのか。

企画課長

現時点で見送りとしている。

議員

当初チームラボアイランドを誘致すると聞いていたが、予算がつかないのでやめますというのは、もともとそんなにやる気がなかったのか。本当に有効な政策だと思えば、予算を別なところから持つてくるとか、再検討はしなかったのか。

生涯学習課長

チームラボは、世界的に活躍しているチームで、時間的に早く結論を出してほしいということで、一度お断りした。

議員

市長はチームラボを呼ぶことについてどう考えているのか。

市長

交付金ありきの事業ではなく、市がお城を本気で再興して、市のランドマークにするといった構想をしっかりとつくって、そのためにチームラボが必要なんだというものをもう1回練り上げるよう指示をしたところである。

教育部長

地域交流センターの活性化事業については、6900万円の補助申請を行ったが、内閣府の審査により3400万円の査定となった。

企画課長

内閣府審査では豊田城のプロ

寺田
洋議員



ヤードの不安解消を!!

自動車リサイクル法に基づき設置されている「ヤードに関する条例」について

議員

ヤードというのは、簡単に言うとう自動車解体する場所である。ヤードは鉄の塀で四方が囲われていて、中が見えないようになっていて。平成14年自動車リサイクル法ができる前は、露天で解体を行っていたが、解体したものがほかに飛ぶとか、環境的に見て悪いとの理由でヤードの中で車を解体することになった。しかし、このヤードができたために自動車盗難、農機具盗難が増加し、茨城県は全国ワーストである。法律では塀の構造はどうなっているのか。

市民生活部長

県では、ヤード設置申請時に中を確認できるようにと指導しているが、法的には構造に指定はなく、事業者次第である。

議員

中が見えるような構造にしたいだきたい。常総市にもヤード条例が必要ではないか。

市民生活部長

近隣では、坂東市が条例で立ち入りを認めるとか、届出を義務づけている。条例制定については、県・近隣市町・警察署と連携をとって検討していきたい。

議員

やはり鉄の塀ではなく、中が見えるような柵が必要だと思う。市長の考えを伺いたい。

市長

ヤードが自動車盗難の温床になっているということで、県時代に茨城県ヤード規制条例をつくろうと動き出したが、法律の競合など難しい問題があることを学んだ。立ち入り検査や監視カメラの設置は県でも行っているが、盗難を少しでも減らすにはどういう方策がいいか、千葉県や坂東市の条例も踏まえて、今後注意深く検討していきたい。



自動車解体工場イメージ

倉持
守議員



防災関係について

市長が目指す防災先進都市の結果に期待！

議員

安全な地域（鬼怒川西地区）に防災の拠点となる複合施設の建設について問う。

市民生活部長

鬼怒川西地区は水害の影響を受けにくく、防災拠点施設の設置に適している。設置に向けて今後積極的に進めていきたい。

議員

災害対策本部は本庁舎から議会棟に移すのか。

安全安心課長

やはり本庁舎に設置することになると思う。別な場所へ対策本部を移動する場合は、西側の地域を検討していきたい。

議員

全国の大災害の被災自治体と協定を結んでいければいいと思っているが、市長の考えは。

市長

防災協定をはじめ、普段から交流を進めていく必要があると思っている。就任後これまでいくつかの東京都の区と情報交換をして、防災協定ができないか動き出しているところである。



議員

防災先進都市を目指す市長と自衛隊出身である危機管理監には、市民も期待していると思う。危機管理監の責任とは。

防災・危機管理室長

災害等から常総市民の生命と財産を守るといふ職責を有する市長を補佐することである。

議員

災害時における水海道有料道路の無料化について問う。

都市建設部長

災害発生時に無料開放ができるといふ内容の協定の締結例は県内ではない。

議員

締結例がないなら一番最初にやったらどうか。周りがやっていないからできないというのではなく、どんどんチャレンジしていったほしい。



県南総合防災センター

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

これぞ本末転倒!!



入札の件について



リートの強度はいくつと検査すれば、安い入札価格でもいい仕事ができるはずである。予定価格を事前に教えるのはやめてもらいたい。

総務部長

予定価格の事前公表は、予定価格を探るなどの不正行為を防止するという利点がある。また、当市では内訳書の提出を義務づけており、業者は必要な積算を行い、適正な入札金額で応札することになるので、競争原理が働いているものと考えている。

議員

何回も何回も97%の落札率なんかない得ない。もっと落札率を下げなくてはいけない。予定価格を教えるはだめだ。

総務部長

業者側から職員に対して予定価格を探る行為を防ぐためにも予定価格を事前公表している。

議員

予定価格を漏らさないために予定価格を公表するのか。職員に綱紀粛正を図り、こういうことをすると懲戒免職になると、ちゃんと植えつけるべきである。業者に言い寄られたから教えてしまうというのは、もう職員の資格はない。

落札率：落札価格を予定価格で除したもの。

無料化の早期実現を!!



水海道有料道路について



水海道有料道路

議員

現在、水海道有料道路の1日の利用状況は。

都市建設部長

平日で約3000台である。

議員

岩井バイパスが開通する前はどうか。

都市整備課長

約2200台である。

議員

岩井バイパスの開通により、大体800台増えている。利便性を感じて通行し始めた方もいるのかなと思う。目前に控えて

いる圏央道の開通により、利用台数が大幅に増え、今の交通状況が大きく変わる可能性もある。最も交通量の多い朝6時から9時の通勤時間帯に、小中学生の登校時間が重なり、子どもたちの通学路の危険度が上昇している。長い渋滞の列を避けて、子どもたちが歩く狭い道路を我先にと急いで、減速しない方も当然いると思う。交通渋滞は当市だけではなく、近隣自治体との関係も出てくると思う。これまで近隣自治体と緩和策を検討してきたか。

都市建設部長

国道354号整備促進協議会を通して無料化の要望をしている。

議員

(無料化に伴い減収となる)

約8000万円の補てんを当市で全額負担できればいいが、それは難しい。関係自治体が納得いくような形での分配ができればと思う。市長は県議時代から無料化について、積極的に取り組まれてきたと思うが。

市長

通学時間帯の無料化を公約に掲げており、早期実現に向けて工程表をつくるよう指示をしているところである。



"新"防災計画に必要な視点

真に住民目線に立った防災計画づくり(新たな防災計画の転換を)

議員

これまでの防災計画は、未然防止対策は重視されず、応急的・対症療法的なもので、財産・生活を守るという視点がなかった。災害で財産を奪われて特に苦しむのは社会的弱者である。そういう人たちを守るという視点がなければ、本当の意味での住民目線に立った防災計画にはならないのではないか。

市長

命を守ることを優先して、被災者生活再建支援法も財産形成に寄与しない助成ということに限度が決められている。そういった制度的な不備を国へ要望していきたい。

議員

豊岡グリーンヒルは、雨が降ると玄関口まで水が押し寄せてくる。こういう常時洪水地域、危険地帯の対策を防災計画に入れるべきではないか。

市長

慢性的に水に悩んでいる地域の抜本的な解決策を検討するよう指示をした。あわせて県の土

木部長や国交省の方々などにも相談をしている。

議員

防災の中で、助け合いが必要だというときに、地域共同体のパワーがなければ地域は守れない。災害に備えて自主防災組織をつくり、地域力を育て上げるということが必要だと思う。防災士の資格取得に対する補助は20人だけではなく、もっと大幅にやる考えはないのか。

市民生活部長

補助については現行どおり継続していく。新たな援助としては、今のところ具体的にはない。水害の教訓を生かした防災計画、そして本当に住民の立場に立った防災づくりが必要である。

議員



市民の生活・財産も守る

関
優
嗣
議員

堀
越
道
男
議員



石川 栄子 議員

なくさないで子育て支援センター
早くなくして待機児童

子育て支援について

議員

常総市の子育て支援センターは、民間で7カ所、公立では第三保育所だけである。民間のモデルとなるよう残すべきなのに廃止すると聞いたが。

保健福祉部長

子ども・子育て会議の中で、民間施設を含め市全体として、検討していきたい。

議員

子育て支援センターは、お母さんたちにとって、子どもの接し方や遊び方、子育てが学べる場となっており、とても大切で必要な場所である。「絶対なくしては困る」という声にどう応えるのか。

市長

子育てをしているお母さん方にとって、この支援センターが果たす役割は大きい。今後、総合的に子ども・子育て会議の皆さんのご意見も踏まえながら全体バランスを考えていきたい。

議員

待機児童・隠れ待機児童は、4月1日の新聞報道よりもかな

保健福祉部長

待機児童は各地区に散在しており、増築することが市全体の判断は難しいと思う。

議員

第三保育所の子育て支援センターの存続と早急な待機児童対策をお願いしたい。これは子育てをするお母さん方にとって喫緊の問題なのである。保育士については、正規での雇用を増やしていくかないと、きちんとした子育ては守れないと思う。



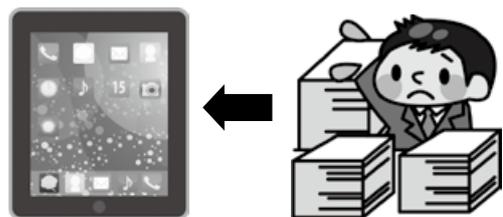
公立の子育て支援センター
(水海道第三保育所内併設)

□ 図 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 図 質 問

紙も積もれば山となる



当市のICT化とペーパーレスについて



大澤 清 議員

議員

庁内ではいろいろな会議等があるの、それを積み上げていったら、年間で削減できる経費は膨大なものになるかと思う。今後の人口減少により税収が下がり、歳出を抑えていかなければならないのは確実である。ぜひともペーパーレス化を推進していったらいい。

前回の一般質問で取り上げた「防災エリア放送」を利用すると、市の広報なども家庭のテレビで見ることができ、紙や労力の削減につながると考えている。市民への情報発信について、市長の考えを伺いたい。

市長

紙媒体に加えて、市の情報をわかりやすく動画でお伝えしていきたいと考えている。

議員

全庁的にタブレットを導入してはどうか。

企画部長

タブレットを庁舎外でも利用できるようにして、市民サービス向上と業務効率化を図りたい。

議員

タブレットは持ち運びが便利で、職員一人一人に配布することで、災害時にも多いに力を発揮するのではないかとと思う。



滞在型市民農園 “クラインガルテン”

大都市災害時における一次避難先としての常総市の潜在能力について

議員

常総市が大都市災害時の一次避難所として、資金投入せずに避難場所を追加するには、既存の施設を転用することが考えられる。そこで、市内における農業用温室設備の棟数を問う。

産業労働部長

ハウスは1157棟ある。

議員

これだけハウスの数があれば、今後被災された方を救うためにこうした施設を活用することもできると考えられる。次に、東京都内の区と災害協定を結ぶ可能性はあるのか。

市民生活部長

災害協定の締結に向けて積極的に進めていきたい。

議員

災害協定が成立したとして、当市から東京都の区に対する要望事項は、老人福祉施設の当市への設置、当市におけるクラインガルテンの設置により、日常的な交流を密にする活動が考えられるが、市の考えは。

市民生活部長

高齢者施設の誘致については、常総市高齢者プランにより施設整備を進めており、現段階では難しい。クラインガルテン設置については、既に海道あすなろの里があり、そこで交流ができるとともに、一次避難先としても活用できると考えている。

議員

老人施設を誘致することで若い人の雇用を生んだり、経済的な活性化をもたらす。積極的に進めていただきたい。クラインガルテンの設置についても積極的に検討していただきたい。市長は、今後の防災協定についてどのように進めていくのか。

市長

今、いくつかの区と情報のやり取りを始めている。県南西地域一体となって、避難者の受け入れをはじめ、いろいろな部分で貢献する地域でありたいと考えている。

■ 般 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI ■ 般 質 問

知恵を総動員して 地域を守る



地域の環境保全、美化について



道路に張り出した樹木

議員

草が1メートルも道路に出ていたりすると、小中学生はそこをよけて通る。車が後ろから来て、本当に危ない。知恵を絞ってくださいと前も言ったつもりだが。

建設課長

道路に草が繁茂している危険箇所については、住民から依頼があれば草刈りをしている。

議員

柏市などでは、環境美化等を行う地域の団体に支援を行っているようだが。

建設課長

当市では、道路の除草等を行った団体に対して、1人1000円の補助を出している。

議員

これからどんどん高齢化して、自分では木を伐採できないような一人暮らしのおおあちゃんも増えていく。真剣に勉強して地域の人が安心して暮らせるような地域の環境保全と美化に取り組んでいただきたい。

市民生活部長

私有地から道路に張り出し

議員

市内には、道路に草木が飛び出し、5メートルの道路幅があるわけなのに、3メートルしかないところがある。市民の方も本当に困っている。環境美化からいつても決して格好良くはない。外国から旅行者を大量に呼ぶといっても、そんな草だらけのところには誰が来るのか。お金をかけなくても地域の力を利用して、環境美化もできるのではないか。

堀越 輝子 議員

新田 宏安 議員

備えあれば憂いなし



災害時の対策について



議員

災害は想定外のことが起こる。災害時の対策として、初動体制、職員配置の体制のマニュアルはどうなっているのか。

市民生活部長

昨年の水害を受けて見直しを行い、案を作成した。

議員

水害からもう1年も経っていない。災害は待ってくれない。いつころできるのか。

市民生活部長

内容的にはでき上がっているが、細かい部分について各課で

遠藤 正信 議員



の確認や、最終的な庁議での決定手続が済んでいない。

議員

完璧なものでなくていい。足りなければ付け加えればいい。いち早く出してもらいたい。次に、避難所の見直しについて伺う。総合福祉センターのよう現在使えない施設も避難所になっている。「今は使えませんが、今は使えませんか。新たな避難所はここです。」と周知徹底するのが当り前ではないか。いざというとき総合福祉センターがそのまま避難所になったらどうするのか。

市民生活部長

地域防災計画の見直しにあわせて、修正をかけた。

議員

あれから日にちが経っている。一番喫緊の情報きちっと市民に伝えるということは、行政の役割ではないか。次に、災害対策本部のメンバー構成について尋ねる。議員は地域をよく見ている。対策本部に議長が入っている。連携して地域の情報が対策本部にきちっと伝わる。議長もしくは副議長を構成メンバーに加えていただきたい。

市民生活部長

地域防災計画の見直しの中で協議、検討させていただきたい。



神達市長に問う

忘れない、感謝のきもち

議員

水害からの復旧の方針を神達市長に伺いたい。

市長

まずは、常総市に戻りたくても戻れない79世帯の方々に一日も早く常総市で元の生活を取り戻していただくことに全力を尽くしていきたい。市民一人一人が元の生活を取り戻すことができなければ、復旧をなし得たとは言えない。国・県、近隣市町村ともつと絆を深め、防災先進都市として復旧に向かっていきたい。

議員

市長就任後、一番最初に指示したことは。

市長

今回の災害では、市民と行政の情報共有がもつと迅速であれば、助かった財産もたくさんあったと思う。そのためには、まず庁内の情報共有が何よりも大事であり、横連携をもつとしていこうという話をした。

議員

水害からの復興の方針について伺いたい。

市長

これまでお世話になった全国の皆さんに感謝をすることから復興は始まる。感謝があるからこそ、次の復興への希望や行動が出てくるのだと思う。そして、常総市が前に向かって進んでいる姿を発信することが、お世話になった皆さんへの恩返しにつながるかと信じている。

議員

庁内の組織・体制について伺う。トップの考えを実現していくためには、もつと効率的な体制が望まれるのではないか。

市長

トップの方針を末端までスピーディーに共感、共鳴を得られるような組織づくりを検討していきたい。

議員

縦割りの行政を脱ぎ去り、いろいろなアイデアや切り口を出し合っ、全庁一丸となって問題に取り組み、常総市全体チームプレーで復旧・復興を成し遂げたい。

平成28年8月随時会議

審議結果

平成28年常総市議会（8月随時会議）が、8月8日に開かれました。

今随時会議には、市長が平成28年度一般会計補正予算を含む議案4件、議員が議案1件を提出。本会議で上程・提案理由の説明があり、採決の結果、議案5件が原案のとおり可決されました。その他、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の補欠選挙が行われました。

議案第18号

常総市防災の日を定める条例について

この条例は、平成27年9月関東・東北豪雨の経験及び教訓を風化することなく後世の市民に継承するため、9月10日を防災の日と定め、市民の防災意識の向上を図るとともに、市民協働で災害に対する備えを強化することを目的としたものです。

平成28年8月定例会議

審議結果

平成28年常総市議会（8月定例会議）

が、8月31日から9月23日までの24日間の会期で開かれました。

今定例会議には、平成28年度一般会計補正予算を含む議案9件及び決算認定9件を市長が提出。初日の本会議で提案理由の説明があり、後日（9月9日）、議案等は各常任委員会及び予算・決算特別委員会に付託され、各委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終日には、市長から人事案件4件、議員から議案1件が提出され、採決の結果、議案10件、認定9件、人事案件4件が原案のとおり可決・認定・同意されました。請願2件が採択となりませんでした。また、議会運営委員会委員の選任、常総市各種委員の推薦がありました。最後に関東・東北豪雨による水害復興特別委員会の委員長から復興の最終報告があり、承認されました。

議案第22号

常総市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について

本案は、医療福祉費の支給対象とならない高額所得世帯について、その所得の基準額を引き上げて支給対象者の拡大を図るために、条例の改正を行うものです。

平成28年 8月随時会議 審議案件と結果

平成28年8月8日

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	関	大	坂	寺	金	堀	小	新	倉	坂	中	岡	遠	中	茂	喜	石	中	堀	風	審	
		優	澤	野	田	子	越	林	田	持	卷	村	野	藤	島	田	見	川	村	越	野	議	
		嗣	清	茂	洋	晃	輝	剛	宏	守	文	博	一	正	亨	信	山	栄	安	道	芳	果	
議案第14号	常総市長等の給与及び旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第15号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	常総市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号 議案第18号 議案第1号	平成28年度常総市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号 議案第1号	常総市防災の日を定める条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
選挙第1号	常総市議会議会運営委員会委員の選任について ・議会運営委員会委員 中村安雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選任
	下妻地方広域事務組合議会議員の補欠選挙について ・組合議員 遠藤正信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》
8/8 本会議 石川栄子(遅参)

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	議案名	関	大	坂	寺	金	堀	小	新	倉	坂	中	岡	遠	中	茂	喜	石	水	中	堀	風	審
		優	澤	野	田	子	越	林	田	持	卷	村	野	藤	島	田	見	川	野	村	越	野	議
		嗣	清	茂	洋	晃	輝	剛	宏	守	文	博	一	正	亨	信	山	栄	昇	安	道	之	果
議案第19号	常総市職員の退職管理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	常総市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	常総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	常総市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	常総市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度常総市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号	平成28年度常総市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	平成28年度常総市大生郷特定公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	平成28年度常総市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	常総市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 片野 茂氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第29号	常総市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 入江昭三郎氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第30号	常総市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 東谷綾子氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第31号	常総市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて 山口 大氏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第32号	平成27年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第1号	平成27年度常総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	平成27年度常総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	平成27年度常総市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	平成27年度常総市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	平成27年度常総市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	平成27年度常総市大生郷特定公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第7号	平成27年度常総市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第8号	平成27年度常総市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第9号	常総市議会議会運営委員会委員の選任について ・議会運営委員会委員 坂野茂実	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	選任
選任第2号	常総市各種委員の推薦について ・民生委員推薦会委員 倉持 守 遠藤正信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
推薦第4号	・介護保険運営協議会委員 石川栄子 岡野一男 中村安雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第1号	豊岡町細野地内市道2355号線の拡幅等について	○	×	○	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	棄	○	×	○	○	採択
請願第2号	関東・東北豪雨による水害復興特別委員会報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

※議長は採決に加わらない

《会議の欠席等の状況》

9/7 本会議 大澤 清(離席) 9/9 本会議 中島亨一(欠席)

関東・東北豪雨による水害復興特別委員会報告書

報告書の要旨は次のとおりです。

【総務部門】

①防災訓練の実施

防災訓練が市全体で実施できるよう、自主防災組織の立ち上げの支援及び育成を積極的に推進する。

②複合施設も兼ねた大規模避難施設の計画策定

地震や原発事故なども想定した大規模避難施設を早期に計画する。

【文教厚生部門】

①当市の人口増に繋がる若い世代が定住しやすい環境づくり

当市の実情にあった特色ある実施可能な施策を早期に進める。

②災害に強い助け合いしやすい環境づくり

地域通貨等のシステム導入や自主防災組織が全地区に広がるような具体的な援助方法を検討し、市と自主防災組織が連携すること、市民の防災意識の向上を図る。

③自然と共存しやすいまちづくり

川を生かすこと、そしてペットと暮らしやすい環境や動物と触れ合えるような環境づくりのため、公共施設の有効利用や河川公園の整備等、実施可能な施策の検討を早期に進める。

【建設経済部門】

①都市計画の見直し

アグリサイエンスバレー構想の実現に併せ、地元農作物のブランド化を目標にした

農地の集積を行う。工業団地の拡大・拡充を早期に計画し、地元雇用の拡大、税収増を図る。商店街の隆盛を目標にした商業地の集積やあり方を検討する。

②商工業の事業者関係への補助金確保及び拡充

商工業の事業者に対する水害被害の支援策を早期に検討して「復興計画」や「常総市まち・ひと・しごと創生」に合わせた施策を推進する。

③IC周辺整備事業（アグリサイエンスバレー構想）の早期実現

施策については、当市の復興をアピールでき、全国に誇れるようなものにする。以上、当委員会のテーマである「常総再興！みんなが住みたいまちづくり」のもと、市独自の政策を早期に実現していただきたい。



市長に報告書を提出(9月23日)

議長のひとこと

水害から1年が過ぎ、今常総市には全国各地から議員をはじめとする行政視察が数多く来られる。

日夜復旧復興に、今後の災害対策に対応する関係各位に頭の下がる思いである。

二度と繰り返したくない災害。しかし、全国を見れば災害は後を絶たない。

災害に強い常総市にならなくてはならない。



常総市議会議長 風野芳之

11月定例会議日程(予定)

11月30日(水)	第14回会議(本会議)
12月6日(火)	第15回会議(一般質問)
12月7日(水)	第16回会議(一般質問)
12月8日(木)	第17回会議(一般質問)
12月9日(金)	第18回会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
12月12日(月)	予算特別委員会
12月13日(火)	常任委員会(分科会)
12月14日(水)	常任委員会(分科会)
12月16日(金)	予算特別委員会
〃	第19回会議(本会議)

※正式な日程は11月下旬に開催される議会運営委員会で決定されます。

常任委員会行政視察報告

市議会常任委員会
は、次のとおり視察
研修を行いました。

総務委員会

10月5日～7日

山口県周南市

防災情報収集伝達システム整備事業について



▲周南市 Web版ハザードマップ

パノラマビューで危険箇所、避難所を確認でき、視覚的に大変見やすいものとなっております。

山口県萩市

萩ふるさとターン応援団（定住支援）の取り組みについて

文教厚生委員会

10月12日～14日

岐阜県岐阜市

岐阜市型コミュニティスクールのについて



▲北名古屋 回想法センター

岐阜県各務原市
寺子屋事業について
回想法について

回想法とは、昔の思い出や体験を語り合うことで、認知症防止に役立てようとするものです。

愛知県春日井市

妊産婦ケアくさんさんルーム
について

建設経済委員会

10月19日～21日

山形県米沢市

有機EL関連事業費補助事業について



▲米沢市 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター

イノベーションセンターは、大学・企業・公的機関が連携し、先端技術の開発・実用化を推進しています。

新潟県新発田市

食の循環によるまちづくりと
農業振興について



▲米沢市 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター

編集後記

議会だより編集委員会は、9月末に議会だよりの先進地である新潟県燕市で視察研修を行いました。燕市議会だより「つばめ市議会ノートブック」は、その名のとおり、おしゃれなネーミングで、表紙のイラストも大変斬新です。研修では、編集委員の方々の熱意が強く感じられました。今回の研修を紙面に生かせる様、更に努力を続けていきたいと考えております。

坂巻 文夫



議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

中村 博美
坂巻 文夫
関 優嗣
坂野 茂実
寺田 洋